本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

アナログシリーズ(X5)*JA

2320・2321

取扱説明書

P

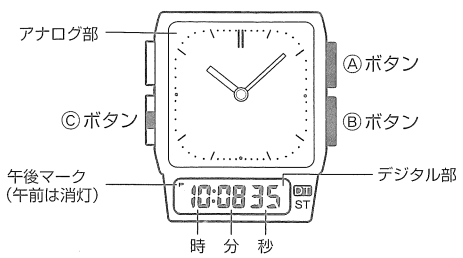
このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

操作のしくみと表示の見方

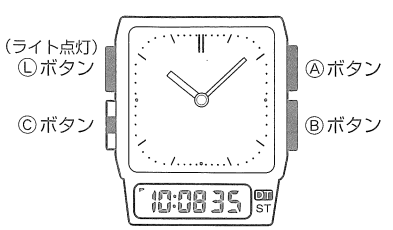
Ⓐボタンを押すごとに以下の順でデジタル部の表示が切り替わります。
※機種により形状は異なります。
※本書の表示例は、モジュール2320を使用しています。(モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています)

デジタル時刻表示

モジュール2320



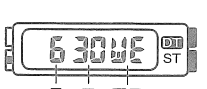
モジュール2321



★ライト点灯(モジュール2321のみ)
Ⓛボタンを押すと、約2秒間ライトが点灯します。

Ⓐ ※以下アナログ(針)部省略

カレンダー表示



<曜日の見方>

SU:日	MO:月	TU:火	WE:水
TH:木	FR:金	SA:土	

Ⓐ

ストップウオッチ表示



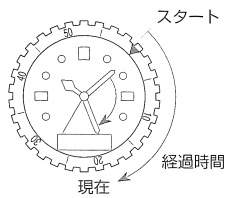
Ⓐ

デュアルタイム表示



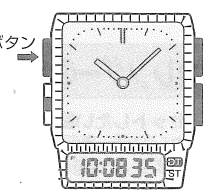
■回転ベゼルのついているものは

回転ベゼルを回し、▼マークを分針に合わせると、その位置をスタートとして経過時間を知ることができます。
※内転ベゼル方式になっているものは右上のリューズを回すとベゼルが回転します。



■ライト点灯について(モジュール2321のみ)

Ⓛボタンを押すと、約2秒間ライトが点灯します。
※ライト点灯中に時計本体より音が聞こえますが、これはELパネルが点灯するときの振動音であり、異常ではありません。
※ライト点灯中に運針するとライトが一瞬消えますが、故障ではありません。



安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)

⃠ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)

● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

かぶれについて

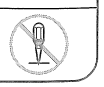
時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



ご使用上の注意

■防　水　性
●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウィンドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水=スキューバ、ダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。
●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的(2～3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バ　ン　ド
●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■温　　度
●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
●+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック
●通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

■磁　　気
●家庭電気製品(テレビなど)程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ・進みが生じることがあります。

■薬　品　類
●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保　　管
●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■お手入れのしかた
●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると
「サビ」 ●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
「劣化」 ●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると劣化が早くなり、切れたり折れたりすることがあります。
「かぶれ」 ●皮膚の弱い方や体調によりかぶれたりすることがあります。
●特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池
●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消　　耗
●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換
●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

■クリーンコート(抗菌防臭処理バンド)について
クリーンコートを施したバンドは、汗等による細菌の増殖を抑え、匂いの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。クリーンコートは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

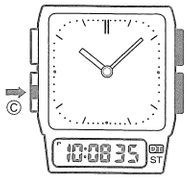
■蛍光商品のお取り扱いについて
蛍光色商品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。
●長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
●長時間、濡れたままにしておくと色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
●長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
●プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■塗装商品のお取り扱いについて
塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。
●塗装部品は使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗したり、色落ちすることがあります。
●塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル(表示照明部)の交換について
表示照明用として本機に使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

アナログ部のセットのしかた

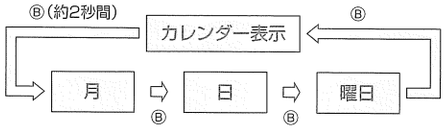
デジタル部がどの表示のときでも、Ⓒボタンを先のとがった棒で押すと1/3分（20秒）ずつ進み、押し続けると早送りします。
※分針はデジタル時刻の秒が0秒、20秒、40秒になったときに1/3分（20秒）ずつ進みます。



カレンダーの合わせ方…

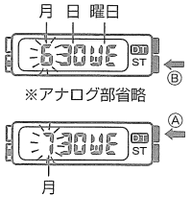
操作のしくみにしたがってⒶボタンを押し、カレンダー表示にします。

1 セットしたい箇所（月、日、曜日）を選ぶ
カレンダー表示のとき、Ⓑボタンを約2秒間押すと「月」が点滅します。以後Ⓑボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所（月、日、曜日）を点滅させます。

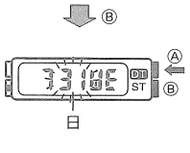


2 「月」のセット
カレンダー表示のときに、Ⓑボタンを約2秒間押すと「月」が点滅します。

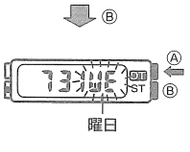
「月」が点滅しているとき、Ⓐボタンを押すごとに「月」が1つずつ進み、押し続けると早送りしますので、合わせたい「月」を表示させます。



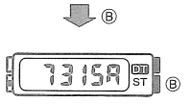
3 「日」のセット
「月」を合わせた後Ⓑボタンを押すと「日」が点滅します。「日」も「月」と同様にⒶボタンでセットします。



4 「曜日」のセット
「日」を合わせた後Ⓑボタンを押すと「曜日」が点滅します。「曜日」も同様にⒶボタンでセットします。



5 「曜日」のセットが終わりましたら、Ⓑボタンを押すと点滅が止まり、カレンダー表示に戻ります。



※カレンダーのセットのときに表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に点滅が止まり、時刻表示に戻ります。
※カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、電池交換時およびうるう年の2月29日以外は修正不要です。

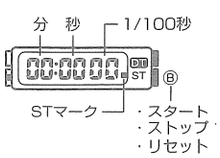
ストップウオッチの使い方…

操作のしくみにしたがってⒶボタンを押し、ストップウオッチ表示にします。

ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

Ⓑボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
計測終了後Ⓑボタンを約2秒間押すと計測値がリセット(00:00 00表示)されます。



● 通常の計測

Ⓑ ⟹ Ⓑ ⟹ Ⓑ（約2秒間）
スタート　ストップ　リセット

● 積算計測（ロスタイムのある計測）

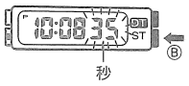
Ⓑ ⟹ Ⓑ ⟹ Ⓑ ⟹ Ⓑ ⟹ Ⓑ（約2秒間）
スタート　ストップ　再スタート　ストップ　リセット

デジタル時刻のセットのしかた

■秒の合わせ方…30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度くらい「秒合わせ」をしていただくと時刻はいつも正確です。

1 デジタル時刻表示のときに、Ⓑボタンを約2秒間押すと「秒」が点滅します。



2 時報に合わせてⒶボタンを押すと「秒」が00秒からスタートします。



秒が00～29秒のときは切り捨てられ、30～59秒のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

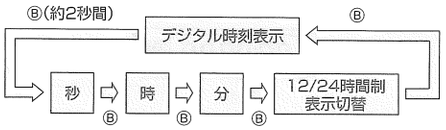
※時報は「時報サービス117番」が便利です。

3 Ⓑボタンを4回押すと点滅が止まり、時刻表示に戻ります。



■時刻の合わせ方

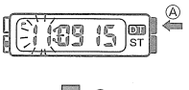
1 セットしたい箇所を選ぶ
デジタル時刻表示のとき、Ⓑボタンを約2秒間押すと「秒」が点滅します。以後Ⓑボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



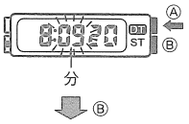
2 「時」のセット
デジタル時刻表示のときに、Ⓑボタンを約2秒間押して「秒」を点滅させてから続けてⒷボタンを押し、「時」を点滅させます。



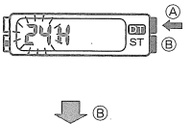
「時」が点滅しているとき、Ⓐボタンを押すごとに「時」が1つずつ進み、押し続けると早送りしますので、合わせたい「時」を表示させます。



3 「分」のセット
「時」を合わせた後Ⓑボタンを押すと「分」が点滅します。「分」も「時」と同様にⒶボタンでセットします。



4 12/24時間制表示の切り替え
「分」を合わせた後Ⓑボタンを押すと12/24時間制表示の切り替えとなり、Ⓐボタンを押すごとに表示が切り替わります。



5 セットが終わりましたら、Ⓑボタンを押すと点滅が止まり、時刻表示に戻ります。



※時刻セットのときに表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に点滅が止まります。

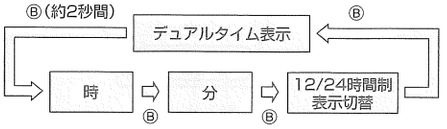
デュアルタイムの使い方…

操作のしくみにしたがってⒶボタンを押し、デュアルタイム表示にします。

デュアルタイムとは現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。（秒はデジタル時刻と連動）
また、現在時刻とは別に12/24時間制を選択できますので、デジタル時刻を12時間制、デュアルタイムを24時間制のようにセットすることもできます。
また、加えてアナログ時刻も別の時刻にセットすると、合計3つの地域の時刻を表示することができます。

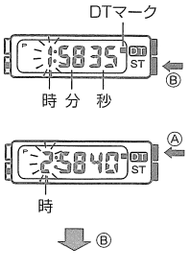
■デュアルタイムのセットのしかた

1 セットしたい箇所を選ぶ
デュアルタイム表示のとき、Ⓑボタンを約2秒間押すと「時」が点滅します。以後Ⓑボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

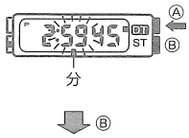


2 「時」のセット
デュアルタイム表示のときに、Ⓑボタンを約2秒間押すと、「時」が点滅します。

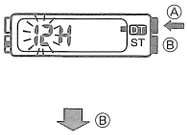
「時」が点滅しているとき、Ⓐボタンを押すごとに「時」が1つずつ進み、押し続けると早送りしますので、合わせたい「時」を表示させます。



3 「分」のセット
「時」を合わせた後Ⓑボタンを押すと「分」が点滅します。「分」も「時」と同様にⒶボタンでセットします。



4 12/24時間制表示の切り替え
「分」を合わせた後Ⓑボタンを押すとデュアルタイムの12/24時間制表示の切り替えとなり、Ⓐボタンを押すごとに表示が切り替わります。



5 セットが終わりましたら、Ⓑボタンを押すと点滅が止まります。



※セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に時刻表示に戻ります。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

デジタル部表示方式：FE型液晶デジタル表示

基本機能：アナログ部…時・分（2針）
デジタル部…時刻表示＝時・分・秒・午前/午後（P）
カレンダー表示＝月・日・曜日（オートカレンダー）

デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝59分59秒99（60分計）
計測機能＝通常計測、積算計測

その他：自動復帰機能、12/24時間制表示切替、ELバックライト（モジュール2321のみ）

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
ワンチップ　CMOS-LSI

精度：平均月差±30秒以内

使用電池：SR-920W（別途販売）

電池寿命：約3年
※1日あたりライト2秒間使用したとき
（モジュール2321のみ）